

グリーン Green フィールド Field

【第7号】令和6年8月発行

年2回発行（8月、1月）

【1面】・令和6年度自衛隊新卒
合同企業説明会【3面】・即応予備自衛官雇用企業
の声

【2面】・退職自衛官の声

・予備自衛官等制度内容

・人材を求める地域の窓口
「滝川分室」

【4面】・援護広告

【お問い合わせ先】

退職自衛官の雇用に関するお問い合わせ … 援護課 011-631-5473

予備自衛官に関するお問い合わせ … 予備自衛官課 011-631-5474

令和6年度 自衛隊新卒合同企業説明会

～セカンドキャリアへの挑戦～

今年度は、札幌地方協力本部管内外あわせて88名の任期制隊員が参加し、隊員のニーズ等を踏まえた道内外企業、警察、海上保安庁、矯正局等

また、北部方面総監、第11旅団長、第7師団副師団長、第1高射特科副団長及び第3施設団副団長がそれぞれ視察し、現状を把握するとともに、参加隊員を激励した。

参加隊員は、希望する企業ブースを訪問し、熱心に企業の説明を聞き、積極的に質問して、再就職に対する不安を払拭していた。

終了後、参加隊員からは、「希望する企業と面談し、就職のイメージができた。」「企業から具体的な内容を聞くことが

自衛隊札幌地方協力本部の公的機関等を含め、昨（本部長 栗田昌彦1等陸佐）は、令和6年7月10日（水）札幌コンベンションセンターにおいて、令和6年度自衛隊新卒合同企業説明会を実施した。

本説明会は、自衛隊援護協会の主催により、雇用企業が、令和7年9月までに任期満了予定の任期制隊員（主に20代）を対象に企業説明及び質疑応答を行い、隊員の具体的な再就職準備を円滑にさせることを目的として実施しているものである。

また、企業説明会に参加できなかった企業パンフレットの情報提供等により、隊員のニーズに対応するとともに、退職予定隊員の予備自衛官等の募集につながるため、広報ブースを設置し、参加隊員及び企業に対して本制度の理解を促進した。

さらに、当日は、参加隊員の直接の上司である中隊長等が参加し、隊員への指導に当たった。また、北部方面総監、第11旅団長、第7師団副師団長、第1高射特科副団長及び第3施設団副団長がそれぞれ視察し、現状を把握するとともに、参加隊員を激励した。

参加隊員は、希望する企業ブースを訪問し、熱心に企業の説明を聞き、積極的に質問して、再就職に対する不安を払拭していた。

終了後、参加隊員からは、「希望する企業と面談し、就職のイメージができた。」「企業から具体的な内容を聞くことが

でき参考となった。」等、再就職に向けた前向きな感想が聞かれたほか、参加企業からは、「説明において、参加隊員の就職に対する熱意を強く感じた。」との声が聞かれた。

本説明会を機に任期制隊員の再就職活動が本格的に始動する。



説明会会場



本説明会の説明



企業説明



企業説明



企業説明



質疑応答



広報ブース



総監視察

退職自衛官 の声

明星自動車 株式会社
池田 裕彦

最終勤務部隊：第11戦車隊本部付隊
退職時階級：准陸尉



私は、令和5年8月に第11戦車隊を定年退職し、現在、明星自動車（株）においてタクシー乗務員として充実した勤務をしております。

タクシー乗務員を志した理由は2つあります。1つは、かねてからキャンピングカーで道内各地を巡り、海外に向けてその魅力を発信したいと考えたため

と、もう1つは、コロナ明けは個人旅行の増加に伴い、タクシー需要が急増するだろうと予測したためです。そして私は、業務管理教育を皮切りに普通2種免許を取得し、英会話に取り組み、キャンピングカーで日本縦断する等見聞を広げ、更には具体的な再就職先をリサーチし、常に時代を先取り、変革し続ける社風の「明星自動車（株）」を探し当てました。

当時、明星自動車（株）は退職自衛官に対するタクシー乗務員の募集をしておりますでしたが、援護関係者の並々ならぬご尽力により採用の検討がなされ、晴れて入社する事ができました。入社当初は、経路も接客も要領を得ず、多くの方々にご迷惑をおかけしましたが、次第にお客様の感謝の声が、会社に届くようになりました。また入社3ヶ月後には、英会話のスキルと現役時代の知見を買われ、冬季におけるインバウンド対応新規事業（ニセコモデル）要員に抜擢されました。この全国初の官民一体タクシー事業は、「ガイアの夜明け」を始めとする各メディアで紹介され、世界50ヶ国以上の方々に1日平均200件、

合計20,000件以上のご乗車を頂き、予想を遙かに上回る成果を収めました。私自身も新聞に掲載され、数多くの海外の方々や笑顔と感謝を交わし合い、最高の達成感を得る事が出来ました。

ここまでに至ったのは、私のために日々奔走してくれた援護関係者の方々のおかげと深く感謝しております。引き続き、自衛隊OBとしての自覚と誇りをもって更なる夢を追いかけて、微力ながらも地域に貢献していく所存です。最後になりますが、今後更なる援護組織の充実発展と、本誌をお読み頂いている方々の益々のご多幸を祈念致します。



上司からのメッセージ

明星自動車株式会社

藻岩支店取締役支店長

松岡 信吾 様



池田さんは、自衛隊の組織で「和」を持って人との繋がりを築いてきたのでしょうか。その気持ちがいとお客様に伝わり高い評価を得ています。また、ニセコ事業ではリーダーシップを発揮し、乗務員のまとめ役としてチームを無事に最終期間まで導いてくれました。これからも彼の活躍を応援しています。

人材を求める 地域の窓口

自衛隊札幌地方協力本部札幌地域援護センター滝川分室は、空知管内の5市4町を担当し、自衛隊新卒者（主に20代）及び定年退職者（主に55歳～57歳）の再就職の援助を行っています。

規律心・責任感・実行力・協調性を身に付けた退職自衛官の雇用に関する興味・検討・問い合わせについては、滝川分室までご連絡ください。

滝川市泉町236番地

陸上自衛隊滝川駐屯地内

0125-22-2141

（内線275又は276）



滝川分室

即応予備自衛官 雇用企業の声

菱重特殊車両サービス(株)
千歳事業所
管理部千歳総務課
上野 朝昭 様



弊社千歳事業所は平成元年（1989年）設立以来、お客様である陸上自衛隊が保有する戦闘車両のメンテナンスを行う「国内唯一の民間企業」として、日本の防衛に貢献して参りました。また陸上自衛隊を任期満了、又は定年で退職された方々を90数名（社員総数の約74%）雇用しており、陸上自衛隊退職後の生活基盤を確立する面でも貢献させていただいています。自衛隊勤務経験者が多数在

籍していることから、即応予備自衛官2名・予備自衛官16名が在籍しており、休日等を利用して招集訓練に参加していただいています。訓練参加にあたっては、就業規則で勤怠及び賃金に関する基準を定めるとともに、不在間の担当業務を他社員で補填する等、会社全体で支援しています。

即応予備自衛官及び予備自衛官（以下、「即応予備自衛官等」という。）を雇用することは、社業に併せて陸上自衛隊、ひいては日本の防衛に貢献できるものと自負しています。また千歳事業所は、5つの課（総務課・部品課・技術サービス課・業務課・整備課）と6つの作業班（車体担当3コ班・コンポーネント担当3コ班）で業務を分担しています。即応予備自衛官等以外の陸上自衛隊を退職された方々を含めて、組織の一員としての心構えが身についており、各課・各班が様々な業務を推進する時に、自身が置かれた状況や立場を理解して、責任をもって行動することができます。更に定年退職者には、豊富な人生経験に基づく、若手社員の悩みごと相談や不満解消にも対応してもらっています。終わりに、これからも即応

予備自衛官等が防衛出動や災害派遣に対応できることを念頭に、引き続き招集訓練に参加できる体制を維持するとともに、即応予備自衛官等の社員の雇用にも努めていく所存です。今後ともよろしくお願い申し上げます。



予備自衛官等 制度内容

（給付金、協力事業所表示制度）



予備自衛官等制度とは、普段は社会人として企業等に勤務しながら、年間で定められた日数の訓練に参加し、有事においては招集され自衛官となり、防衛出動や災害派遣などの任務に就く制度です。制度を円滑に運営するためには、企業等のご理解とご協力が必要不可欠です。そのため、国では予備自衛官等を雇用している企業を支える各種制度があり

ます。

その1つに、即応予備自衛官雇用企業給付金という制度があります。これは、即応予備自衛官が訓練及び災害等招集にいつでも出頭できる環境を整えていただくため、雇用企業に給付金が支払われる制度です。要件が満たされると、即応予備自衛官1人に対し月額42,500円（年額510,000円）が支払われます。

そのほかにも状況に応じた給付金制度があり、幅広く企業をサポートできる体制を整えています。

また、予備自衛官等協力事業所表示制度については、事業所が予備自衛官等の雇用を通じ、社会貢献を果たしていることを防衛省として認定・称揚することで制度に対する社会的な関心・理解を深め、同制度の円滑な運営に資することを目的としています。地本長認定協力事業所と大臣認定協力事業所の2種類があり、雇用企業の希望により防衛省ホームページに掲載されるほか、認定証の盾が贈られます。

防衛省・自衛隊ではこのような制度により雇用企業の負担を軽減しつつ、予備自衛官等と雇用企業がより良い関係を構築できるよう目指しています。

魅力が盛りだくさん！
～退職自衛官を雇用しませんか？～



責任感

企画力

規律

戦略的
思考

専門知識

リーダー
シップ

実行力

団結心

チーム
ワーク

国防から企業を支える力へ！



自衛隊は精強性を維持するため、自衛官には特別な退職管理制度があり、50代半ば（若年定年制）と、20代（任期制）で退職を迎えます。しかしながら、50代はまだ働き盛りですし、若い隊員も教育と部隊勤務により社会人として必要な能力が身につけております。彼らの資質と能力はいずれの分野でも企業様のお力になれます。

お問い合わせお待ちしております！ 援護課011-631-5473

自衛隊札幌地方協力本部 とは

石狩・空知（南部）・後志・胆振・日高の5つの振興局において64市町村を管轄しており、地方自治体や地域の皆様との窓口となる組織です。自衛官の募集・採用業務、退職予定自衛官の再就職支援、予備自衛官に関する業務、自治体等との連絡調整、自衛隊の広報を主な業務として行っております。

札幌地本〈再就職支援・予備自衛官情報〉広報紙

グリーン フィールド

「Green Field」

お楽しみに！

次号は 令和7年1月発行

「予備自衛官の活躍」「退職自衛官の声」「予備自衛官の声」を掲載予定です。

グリーン フィールド
「Green Field」は
札幌地本ホームページで
ご覧になれます。



Homepage



X



Facebook



Instagram

